市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

標準財政規模

総

歳入

12,205 人(H21.3.31現在)

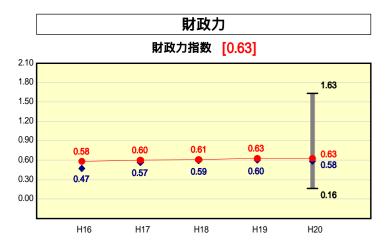
k m²

千円

7.61

2,950,999

4,290,460





類似団体内順位 17/70 全国市町村平均 岡山県市町村平均 0.47



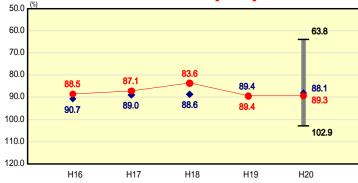
63.2 71.3

H20

類似団体内順位 全国市町村平均 岡山県市町村平均



経常収支比率 [89.3%]

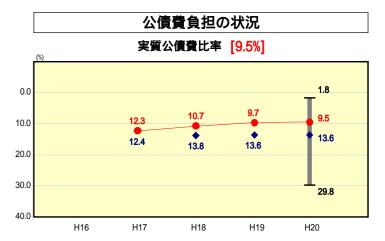


類似団体内順位 全国市町村平均 岡山県市町村平均

類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体

平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない 団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



将来負担の状況

将来負担比率 [38.2%]

100.0

200.0

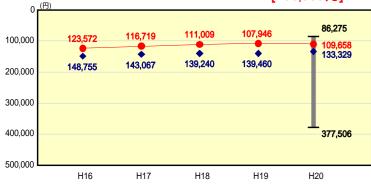
300.0

400.0

類似団体内順位 全国市町村平均 岡山県市町村平均

人件費・物件費等の状況

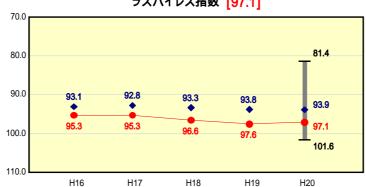
人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [109,658円]



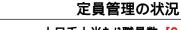
類似団体内順位 20/70 114,142 岡川県市町村平均 115.018



ラスパイレス指数 [97.1]



類似団体内順位 56/70 全国市平均 全国町村平均



人口千人当たり職員数 [6.47人]



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数

ここ5年間連続した伸びを見せていたが、景気低迷により法人税等の減収から前年度と同率

経常収支比率

経常収支比率も類似団体の中で上位に位置していたが、平成19年度より下水道会計への 分流方式の繰入基準の導入により、類似団体の平均値程度の率となった。今後も一般会計の 経常支出の抑制を行うと同時に、下水道会計の公債費の負担を軽減する借換債等を活用し一 般会計への負担の軽減を図る。

定員適正化計画に基づき今後も職員の削減や適正な給与の運用を行う。

全国平均値よりも低く健全な率であるが、町民総合会館建設に伴う地方債の償還が平成25 年まで続くがその償還に対する交付税措置が平成20年度で終了する。このことから平成21 年度~平成25年度までは、比率も上昇し、財政面にも影響が生じる見込があることから、計画 的に積み立てた基金の活用及び今後の地方債の発行について十分に注意する必要がある。

全国でも上位に位置し、健全な運営である。今後とも財政計画に基づき、将来負担が過大 にならないように努める。

人口千人当たり職員数

過去から全国市町村平均を下回り、平成20年度も全国類似団体の中でも5番目に位置す る職員数である。今後も、事務改善を図り行政サービスの向上に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額

類似団体平均と比較して、人件費・物件費等の決算額は低くなっている。これは、職員数が 少ないこと、ごみ焼却業務及び消防業務を倉敷市に委託し補助費に計上されていることが大 きな要因である。また、将来を見据え平成16年度から取り組んだ財政改革もひとつの要因と なっている。

類似団体内順位 5/70 全国市町村平均 岡川県市町村平均